

令和6年度 第2回市民活動サポートセンター運営懇話会 会議概要

令和6年8月15日（木）18:30～20:35

横須賀市立市民活動サポートセンター

出席者 8名…石黒、小串、笈、小池、高澤、丸岡、山岸、加藤
欠席者 1名…村野
事務局 2名…地域コミュニティ支援課 山岸、松本
指定管理者 2名…NPO 法人 YMCA コミュニティサポート 吉永、沼崎、茂澤
傍聴者 1名

配布資料 1 利用状況、利用者の声
2 夏のボランティア・市民活動体験 2024 中間報告
3 のたろんフェア 2025 企画案
4 令和5年度の新規登録団体・変更団体リスト、登録団体推移
5 市民公益活動継続活動者表彰について（非公開）

開 会

議題「（2）市民公益活動継続活動者表彰について」は、非公開情報を含むほか、審議会意思決定の中立性及び公正な審議を確保するため、情報公開条例の規定に基づき非公開とすることについて、出席した全委員の承認を得て決定。

1 報告事項

1-（1）利用状況、利用者の声について

指定管理者及び地域コミュニティ支援課から、資料1に沿って報告した。

（指定管理者：汐入について）

- ・令和6年4月から7月までの利用者数は、1万643人、前年度比102.74%の微増、利用団体数は2808団体であり、前年度とほぼ横ばい（99.6%）の利用状況であった。
- ・データベース登録団体数は、前年度比103%の微増。
- ・備品の貸出状況は、前年度に比べ減少している。また、講座開催実績も減少している状況であり、今後はパソコン講座のリニューアルを行い、利用促進を図っていきたいと考えている。
- ・コピー機の料金収入は前年度に比べ減収（前年度比93.9%）、印刷機の料金収入は前年度に比べ増収（前年度比102.4%）となっている。
- ・市民活動サポートセンター分野別利用者数推移は、「文化・芸術・スポーツ」の分野の方の利用が多い傾向となっている。
- ・曜日・時間別統計では、曜日の傾向として月曜日と金曜日の利用が少なくなっている。
- ・前回の懇話会で、曜日の利用傾向を過去と比較して考察してみたいという意見があったことから、新たな資料を作成。令和5年度も月曜日と金曜日の利用が少なく、令和6年度と同様の傾向にあ

るが、コロナ禍前の令和元年度は、金曜日の利用は割と多い傾向にあった。コロナ禍以降、傾向が変わっていることがわかる。

- ・活動紹介コーナーの利用状況は、センターエリアの利用は多いが、フロントエリアの利用が少ない状況にある。

- ・利用者の声のうち、以下についての意見があった。

(5月)

丁合機の調子が悪いというご意見をいただいたが、機器の清掃を行い、復旧した。

(6月)

利用者用パソコン2台のうち1台は、ワード、エクセルの利用が出来ない状況であり、改善して欲しいというご意見をいただいたが、8月中に改善をする予定で現在準備をしている。

また、多目的トイレの機能についてご意見があったが、予算の都合もあり検討中とさせていただいた。しかし、現状、温水洗浄便座の設置がないことが大きな課題と認識しており、今後検討していきたい。

(7月)

女性用トイレにトイレ用擬音装置をつけて欲しいとのご意見をいただいたが、施設管理の観点(節水)からも設置が望ましいと判断、すでに設置を完了している。

(地域コミュニティ支援課：久里浜について)

- ・令和6年6・7月の利用者数及び利用団体数共に減少(前年度比80%程度)している。
- ・利用者数の減少については、同期間のコピー機・印刷機の使用も減少している状況であり、久里浜市民活動サポートセンターの主な利用目的がコピー機・印刷機の使用であることから、コピー機・印刷機の使用の減少が利用者数の減少に繋がっていると考えている。
- ・コピー機・印刷機の使用が減少し、料金収入も前年度に比べ減少している。使用については波があるが、減少傾向となっている。

(懇話会構成員からの質問・意見)

- ・「市民活動サポートセンター例月実績報告」の資料について、前年度比の数値の対比が誤っており、資料の数値として正しくない。

→次回から改善する。(指定管理者)

- ・久里浜市民活動サポートセンターの利用者数が減少していることについて、特に6月は顕著であり、前年度の84人に比べ約半分(44人)に減少しているが、夏は暑いから利用者が減る等、その要因は。

→前年度40人程度で利用した団体が、今年度は利用しなかったことにより大きく減っている。

もともとの利用者数が多くないため、利用人数が多い団体の利用がなくなると、その影響が比較的大きく出てしまう。

その他、季節的な要因(夏は暑い等)等の詳細は不明だが、併設している役所屋の職員に利用状況を聞くと、暑い時期になると役所屋の利用者は減り、サポートセンターの利用者も減っているように感じるということなので、ご指摘の通りのところもあると考える。(地域コミュニティ支援課)

- ・久里浜市民活動サポートセンターのコピー機・印刷機の使用について、4・5月は使用が多かったが、6・7月は減少している。年度初めの総会資料作成で使用したと推測するが、その要因は。
- 今年の4・5月に使用した人が去年も使用している。定期的に4・5月に使用している団体がいるので、年度初めの総会資料の作成に来ていると考えられる。（地域コミュニティ支援課）
- ・今回作成した曜日別利用者数の補足資料により、コロナ禍の前と後では、利用者数の傾向が大きく違っていることがわかる。今後のサポートセンターの利用について考える際の材料にしてもらいたい。
- 検討の際の材料にしていきたい。（指定管理者）
- ・トイレ用擬音装置の設置について、使い方がわからない人もいるのではないか。また、視覚障害者の方に対しては、点字での説明表示も必要ではないか。
- 使い方についての説明表示の必要性は感じている。あらゆる面に配慮しながら、丁寧に検討していきたい。（指定管理者）
- ・今回のトイレ用擬音装置の設置は、サポートセンター利用者の声であることを表示してみてもどうか。
- 表示する方向で検討していきたい。（指定管理者）
- ・コピー機・印刷機の料金収入の増減は、サポートセンターの運営にどの程度影響があるか。利用者に向けたサービスの向上を考える際に収益を基に考えていく必要があるので、コピー機・印刷機の料金収入が減るとした場合に、コピー機・印刷機の料金収入をどうやって増やしていけば良いのか、あるいは別の収入源を考えるべきなのか、様々検討する際の材料にしていきたい。
- 影響の大きさについて、手元に資料がなくわからないので、次回報告させていただきたい。（指定管理者）

1ー（2）夏のボランティア・市民活動体験 2024 中間報告について

指定管理者から資料2に沿って報告した。

（指定管理者）

- ・期間は、7月20日から9月15日まで。例年8月下旬までとしていたが、今年度は、大学生の夏休みに合わせ期間を延長した。
- ・参加団体は36（前年度29）、イベント数は40（前年度33）、いずれも前年度に比べ増加した。
- ・6月28日に参加団体説明会を行い、16団体、17名が出席した。
- ・広報については、今年度は9月15日まで開催期間を延長しているため、FMブルー湘南でのPRを1日増やした。また、福祉こども部子育て支援課に依頼し、あらたに愛らんど全館で冊子の配架を行った。
- ・期間の途中ではあるが、すでにイベントが終了した団体から報告が来ており、7月にイベントを実施した団体からは、参加者の多い企画になったという報告や、サポートセンターがPRして呼び掛けした緑ヶ丘女子高等学校、横須賀学院高等学校からのボランティア参加があったという報告をいただいている。学生のボランティア参加については、今後の活動への更なる参加に繋がると良いと考えている。

- ・今後の予定は、報告会を9月27日、サポートセンター活動紹介コーナーでの報告展示を9月21日から10月4日まで実施し、10月上旬には各団体から報告されたものをまとめた報告集を発行する予定である。

(懇話会構成員からの質問・意見)

- ・冊子をA5版としているのは、何か狙いがあるのか。
→手に取りやすいサイズであると考えている。一方、報告集は写真等が入るため、A4サイズとしている。(指定管理者)
- 冊子を持ち歩いて見ることを考えると、A5サイズは良いかと思う。ただ、字は小さい感じはするので、レイアウトを含めて、より見やすいものを検討してもらえると良い。(構成員)
- 来年度の参考とします。(指定管理者)

1- (3) のたろんフェア 2025 について

指定管理者から資料3に沿って報告した。

(指定管理者)

- ・開催日時は、令和7年2月8日(土)・9日(日)。
- ・現在の企画案については、資料のとおりである。

(懇話会構成員からの質問・意見)

- ・実行委員募集への応募は、どのくらいあったか。
→10名の募集に対し、9名の応募があった。(指定管理者)
- ・実行委員の人数が少ないと、のたろんフェアの開催内容に影響が出兼ねないので、募集期間は終了しているが、実行委員への希望があれば事務局(サポートセンター)に相談して欲しい。
- ・前年度は、2日間の開催の中で出店者を1日ごとに入れ替えたが、今年度はどのようになるのか。参加する側からすると、早めに教えて欲しい。また、一般の見学者が会場に来て、目的の団体が違う日に来店していたというようなことを見聞きしたので、確実な情報発信の方法を考えて欲しい。
- ・企画案にオンライン企画があるが、どのような企画を考えているのか。
→これまでもオンライン企画を検討し、実際に実施した年もあるが、成功とは言えず、難しい面があると感じている。ただし、ニーズはあるのではないかと考えているので、今年度も検討していきたい。何か良い案があれば、教えていただきたい。(構成員(前年度実行委員))

2 議題

2- (1) データベース登録団体と公益性の判断について

指定管理者から資料4に沿って前回以降の新規登録・異動団体について説明した。

(懇話会構成員からの質問・意見)

- ・「一般社団法人つばさ」は新規登録団体ではなく、「NPO法人つばさ福祉送迎」からの法人格の変更ではないのか。一旦団体を削除して、新規団体として取り扱っているのはなぜか。
→手元に資料がないため、次回報告させていただきたい。(指定管理者)

2 - (2) 市民公益活動継続者表彰について（非公開）

地域コミュニティ支援課から制度の概要と、指定管理者から配布資料の概要を説明した。

※ 会議の内容は非公開とする。

3 その他

（懇話会構成員からの質問・意見）

- ・ 本日サポートセンターから配布された資料の中に、視覚障害の方に関する資料があった。障害には様々あり、視覚障害の方は白い杖をついている、歩けない方は車いすに乗っているなど視覚的に認識出来る障害もある一方で、例えば、聴覚障害のような周囲から非常に認識されにくい障害もある。周りから認識されにくい障害についても、何か取り組みをしていただけたら良いと思う。

連絡事項

（地域コミュニティ支援課）

- ・ 第3回運営懇話会は、令和6年11月21日（木）18：30～サポートセンターにて開催予定。